決算審査特別委員会の審査から



決算審査特別委員会
久保田　武　委員長

総務費

▼２款１項１目　一般管理費

問 業務効率化・デジタル人材育成事業費1,378万6千円の内訳を伺う。

答 定型的な業務を自動化するＲＰＡ関連経費として341万４千円、ＡＩを活用した業務効率化に係る経費として237万６千円、職員が自ら業務アプリを作成できるノーコード・プログラミングツールの利用料として101万９千円、庁内の情報共有やデータ活用に係るツールの利用料として384万１千円、デジタル人材の育成に係る職員研修費として313万５千円を支出した。

▼２款１項７目　企画費

問 いがしらリゾート活性化構想案策定業務委託費400万円について、どのような内容を委託したのか伺う。

答 いがしらリゾート全体の今後の更なる魅力創出に資する取組を推進するため、事業展開やマネジメントについて整理した「いがしらリゾート戦略的事業構想書」の策定を委託したものである。

民生費

▼３款１項１目　社会福祉総務費

問 物価高騰重点支援不足額給付金支給事業費について、減額になった理由を伺う。また、対象者に対する支給割合を伺う

答 減額になった理由については、支給対象者数、支給額ともに当初の見込みを下回ったためである。また、支給割合については、91パーセントである。

▼３款２項５目　特定教育・保育施設費

問 保育士宿舎借り上げ支援事業補助金について、業務内容と支援件数について伺う。

答 保育士確保対策として、保育士が働きやすい環境を整備する目的で、保育施設の事業者が保育士用の宿舎を借り上げるための費用の一部を支援するものであり、支援件数は１件である。

衛生費

▼４款２項２目　塵芥処理費

問 リサイクルセンター管理料が令和６年度より２５３万円ほど増加した理由を伺う。

答 令和７年度は、太い枝を破砕する一次破砕機のオーバーホールを実施したことにより増額となった。

商工費

▼５款１項２目　雇用支援対策費

問 令和７年度に実施した合同就職面接会＆企業説明会について、参加企業数、参加人数、面接件数及び採用に至った人数を伺う。

答 参加企業数は30社、参加人数は32名、面接件数は19件であり、そのうち採用に至った人数は５名である。

農林水産業費

▼６款１項３目　農業振興費

問 担い手確保・経営強化支援事業費補助金5,471万円はどのような内容の支出なのか伺う。

答 コンバイン、田植え機、玉ねぎ選別機、にらパイプハウスなどの農業用機械や施設の導入費用である。

教育費

▼10款１項３目　教育振興費

問 日本語指導助手２名の令和７年度における業務時間及び業務日数を伺う。

答 令和７年度における日本語指導助手の業務時間は1,789時間、業務日数は481日である。